

報 道 資 料

平成29年5月22日（月）

「EA-18Gグラウラーの一時展開」に対する要請結果について

このことについて、本日（22日）、下記のとおり要請を行いましたので、その概要をお知らせします。

記

1 日 時

平成29年5月22日（月）午後2時～午後2時15分

2 場 所

中国四国防衛局（広島市中区上八丁堀6番30号）

3 対 応 者

中国四国防衛局企画部長 みやかわ ひとし
宮川 均

4 要 請 者

山口県：総務部理事 やしき けんじ 矢敷 健治
岩国市：基地政策担当部長 たかた あきひこ 高田 昭彦

5 要請内容及び回答の概要（要請内容は別添のとおり）

（要請内容）

今回の一時展開にあたり、以下の事項について、国から米側に求めること。

- 日米合同委員会合意や岩国日米協議会における確認事項の遵守など、騒音対策や安全対策について万全を期すこと。
- 今回の展開が、なし崩し的に延長されることがないように、計画どおり岩国基地から離れること。

（国の回答）

防衛省としては、EA-18Gグラウラーの岩国飛行場への一時展開にあたり、これまでと同様に、米側に対し、岩国日米協議会における確認事項を尊重するなど、騒音面や安全面に最大限配慮しつつ、地域住民に与える影響を最小限にとどめるとともに、当該訓練が米側の計画どおりに実施されるよう、米側に働きかけてまいる。

6 その他

外務大臣あての要請書は、本日郵送した。

EA-18Gグラウラーの岩国飛行場における一時展開に対する要請書

5月17日、国から、「EA-18Gグラウラー」部隊が、5月27日から岩国飛行場において一時展開するとの説明を受けました。

国の説明によると、三沢飛行場において、概ね半年ごとに部隊を交代しつつ展開している「EA-18Gグラウラー」6機（人員約200名）は、現在、滑走路改修工事が行われているため、韓国に展開中であるが、今般、韓国においても、滑走路改修が行われることとなったため、5月27日から約1ヶ月間、岩国飛行場へ一時的に展開予定という内容でした。

地元自治体としては、今回の展開はあくまでも恒常的な配備ではなく、米軍の運用の一環であると認識していますが、一部隊による一ヶ月程度の臨時展開であることから、航空機の騒音軽減や安全確保など安心・安全対策には十分に配慮する必要があります。

ついては、今回の一時展開にあたり、下記の事項について、国から米側に求めることを強く要請します。

記

- 1 日米合同委員会合意や岩国日米協議会における確認事項の遵守など、騒音対策や安全対策について、万全を期すること。
- 2 今回の展開が、なし崩し的に延長されることがないように、計画どおり岩国飛行場から離れること。

平成29年5月22日

外務大臣 岸田文雄 様
防衛大臣 稲田朋美 様

山口県基地関係県市町連絡協議会

会 長	山口県知事	村岡 嗣 政
副会長	岩国市長	福田 良彦
	柳井市長	井原 健太郎
	周防大島町長	椎木 巧
	和木町長	米本 正明